



## 賛否の分かれた議案・請願（福田 秀章議員は、議長のため表決しません。）

賛成：○ 反対：× 欠席：-

議員名	議員名																結果						
	三谷 禎勇	中田 哲	小杉 崇浩	白井 和弥	小山 裕久	幸田 安司	佐々木 智文	多宮 健二	西上 俊彦	大西 雅子	長尾 明憲	佐貫 尚子	森本 政直	田中 一良	北本 節代	美藤 和広		檜田 充	松岡 信生	平野 菅子	國永 紀子	厚地 弘行	
予算	令和元年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
	令和元年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
条例	農業共済条例を廃止する条例の制定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 18 反対 2 可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成 20 反対 1 可決
請願	インフルエンザワクチン予防接種費用の中学3年生までの助成	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	賛成 2 反対 18 不採択	

## 全議員が賛成した議案等

議員名	件名
予算	令和元年度農業共済事業特別会計補正予算（第1号）
	令和元年度下水道事業会計補正予算（第2号）
	令和元年度農業共済事業特別会計補正予算（第2号）
条例	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
その他	野外活動センターの指定管理者の指定 → NPO 法人 ナック
	有馬富士自然学習センターの指定管理者の指定 → (公財) 兵庫県園芸・公園協会
	聖苑の指定管理者の指定 → さんだ斎苑管理グループ
	教育委員会委員の任命につき同意を求めること

## 陳情（採択しません）

件名
教育環境整備に関する陳情書
通学路に関する防犯灯設置についての要望書
身体障害者優先駐車場に関する陳情書 仮称「三田市ゆずり合い駐車場条例」
三田市道 山田・香下線 道路拡幅工事に関する陳情書
商工会に対する支援要望について
三田市私立幼稚園振興に関する要望書
令和元年11月25日現在において、『無償譲渡契約の適格な当事者であることを確認できる文書は、受理または作成していない』という状況では、武庫が丘コミセンの無償譲渡契約の締結は、現時点、「無効」であることの①確認と②是正を求める陳情書

# 賛否の分かれた議案



## 一般職の職員の給料に関する条例の一部改正

内容 人事院勧告に準拠し、一般職職員等の給与月額及び勤勉手当の支給額の引き上げ、市議会議員の期末手当の支給割合の改定（引き上げ）を行うなどの改正



### 反対討論

今回の人事院勧告には職員の給与とともに議員の期末勤勉手当の増額が含まれている。人事院の調査は50人以上の企業に対してであり、三田市の現状に即しているか疑問である。

議員の期末勤勉手当は、必ずしも人事院勧告を尊重の必要はなく、三田市の財政状況の悪化が予測される中、議員報酬を増額する根拠はないため、この議案に反対。

（無会派 小山 裕久）

### 賛成討論

人事院勧告は、労働基本権制約の代償措置として、職員に対して適正な給与を確保する機能を持つ。

公務員の給与は市場原理による決定が困難であるため、経済状況・雇用情勢を反映して決定される民間給与に準拠して決められるとの原則により、官民比較して決定されたもので、妥当な勧告と考える。

以上のことから、この議案に賛成。

（盟政会 森本 政直）



## 令和元年度一般会計補正予算（第4号）

内容 マイナンバーカード取得者を対象にプレミアム付きで販売されるマイナポイントを活用し、消費の活性化を図るための事業費の増額補正などについて。



### 反対討論

消費税増税による消費低迷対策としての予算だが、そもそもマイナンバーカード取得は義務ではないにも関わらず、マイナンバーカードを持たなければ還元を受けることができないマイナポイントの仕組みはおかしい。高齢者など電子決済に不慣れな方が還元を受けにくいのも問題。

「増税対策」の名目でマイナンバーカードを取得させるために国費を使うことに疑問である。以上のことからこの議案に反対。

（日本共産党三田市議団 長尾 明憲）



### 賛成討論

今回の事業は、マイナンバーカードの普及促進、行政事務の効率化、消費低迷への対策を目的としているが、実施にあたり、キャッシュレス化への対応を目的としたマイキーIDの設定が必要となる。

この補正は、市民が円滑に事業を活用できるための支援として、マイナンバーカードの取得やマイキーIDの設定、また利用可能店舗の拡充などの消費活性化事業に活用されるものであるため、この議案に賛成。

（盟政会 幸田 安司）